

しかおい議会だより

第 168 号

令和 6 年度各会計決算審査

数字で見る まちの主な財政指標

クローズアップ 2024 決算・事業

決算・質疑

9月定例議会

町政を問う・一般質問

P2

P4

P5

P6

P8

P9

「灯」

撮影者 鹿追高校写真部 2 年
しみず まいあ
清水 麻衣亜 さん

9月 15 日 鹿追神社秋季例大祭で白蛇姫
舞が奉納されました。

■発行者 北海道鹿追町議会

■2025 (令和 7) 年 10 月 25 日発行

【E-mail】 gikai@town.shikaoi.lg.jp

【URL】 <https://www.town.shikaoi.lg.jp/>



議会ホームページ

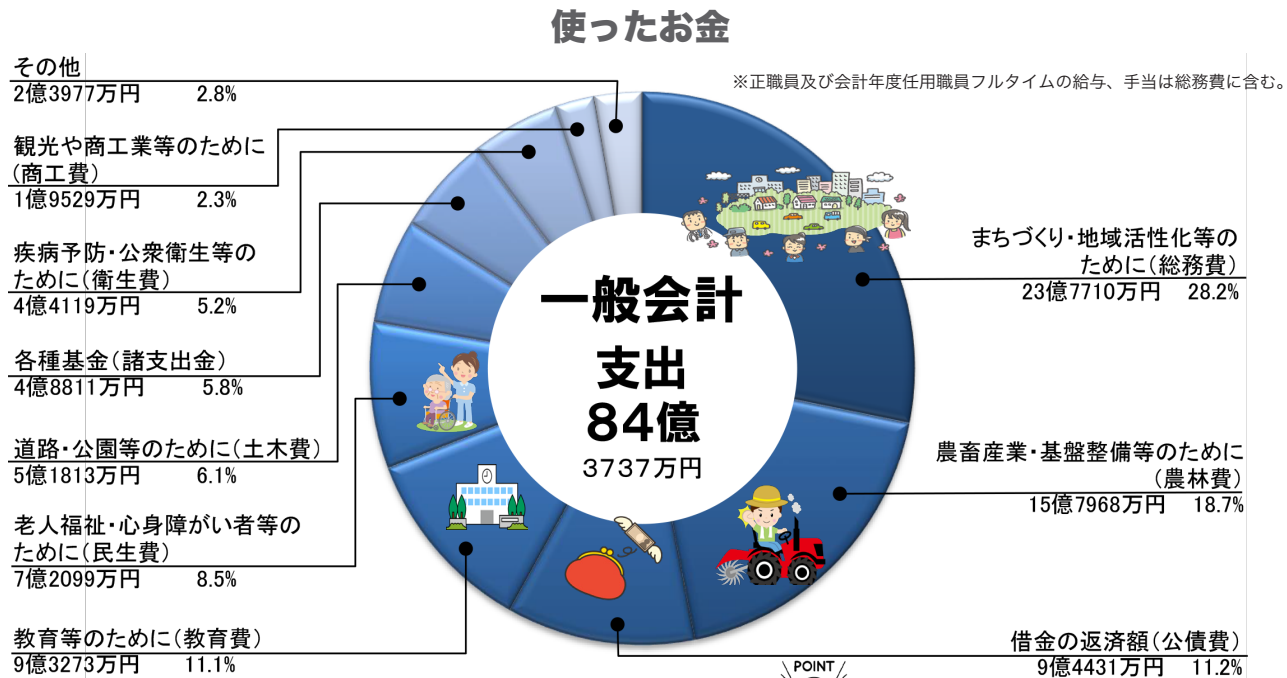
検索

2025 年 10 月

令和6年度 各会計決算審査

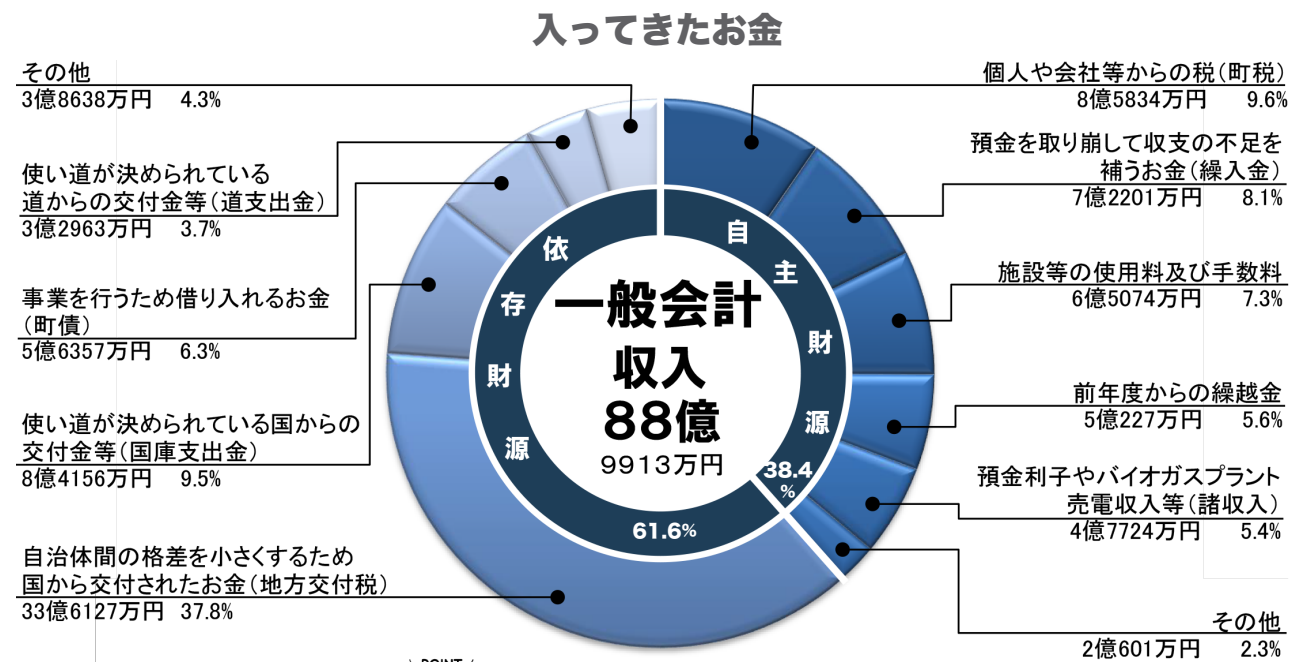
教育費を大幅に拡充

前年度より
3億3555万円増
支出構成比3.4%増



物価高騰対策、公共施設エアコン設置、高校寄宿舎建設等を実施
物価高騰による町民の家計負担を軽減するため、商品券配布や給付金事業を実施した。また、役場庁舎や公共施設にエアコンを設置したほか、鹿追高校入学者の増加に伴い寄宿舎の整備等を行った。

**一般会計 支出
前年度比 8.4%増**



**一般会計 収入
前年度比 7.4%増**

町税は減少、町債(借入金)と繰入金(預金取り崩し)は増加
令和5年度と比較すると、町税が5.7%、ふるさと納税等の寄付金が24.6%減少し、新型コロナ関連の交付金も減少した。このため、町債(借入金)を59.1%、繰入金(預金取り崩し)を22.4%増加させ、財源を確保した。

各会計の決算状況

区分	歳入	歳出	差引残額	歳出の前年度増減比
一般会計	88億9913万円	84億3737万円	4億6175万円	6億5480万円 8.4%
特別会計				
国民健康保険	7億1504万円	7億792万円	712万円	2415万円 3.5%
介護保険	5億6756万円	5億4721万円	2035万円	218万円 0.4%
後期高齢者医療	1億557万円	1億506万円	50万円	616万円 6.2%
合計	102億8732万円	97億9758万円	4億8974万円	6億8731万円 7.5%

区分	歳入	歳出	差引残額	歳出の前年度増減比
企業会計				
国民健康保険	収益的収支 6億4657万円	6億4137万円	520万円	2332万円 3.8%
病院事業	資本的収支 3957万円	1億339万円	△6381万円	7208万円 230.3%
簡易水道事業	収益的収支 2億1661万円	1億2858万円	8803万円	皆増
	資本的収支 4570万円	1億3748万円	△9178万円	
下水道事業	収益的収支 3億102万円	2億5070万円	5031万円	※簡易及び下水道会計は、令和6年度より特別会計から企業会計に移行しています。
	資本的収支 4460万円	1億5060万円	△1億599万円	

※企業会計の資本的収入額が資本的支出額に不足する額は、過年度及び当年度損益勘定留保資金等で補っています。

※文中、表、グラフの金額は1万円未満切り捨て、率は小数点第二位を四捨五入。各項目の金額及び率の合計は、端数処理により合計額及び100%、他の資料と一致しない場合があります。

財政状況は健全を維持するも 実質公債費比率(借入金返済率)はじわりアップ

令和6年度各会計決算審査特別委員会(川染洋委員長)を9月18日に開催し、各会計とも適正な運用であったと認めた。

令和6年度一般会計決算の支出では、鹿追高校寄宿舎整備、高校用iPad購入等を含む教育費が9億3273万円となり、構成比は前年度より3.4ポイント増の11.1%となった。

町の財政状況を示す財政力

令和6年度決算では、歳入・歳出ともに前年度より増加したが、形式収支では4051万円の減額となった。財政指標では、経常収支比率が81.8%で、財政硬直化が認められる。今後、財政改革を進め、一層の健全化に努める必要がある。

決算監査意見 (要約)

野村 英雄 代表監査委員

○一般会計及び特別会計
令和6年度決算では、歳入・歳出ともに前年度より増加したが、形式収支では4051万円の減額となった。財政指標では、経常収支比率が81.8%で、財政硬直化が認められる。今後、財政改革を進め、一層の健全化に努める必要がある。

○国保病院事業会計
医療収益が減額した一方、費用の増加により、町からの補助金が4年ぶりに1億円を超えた。住民ニーズに応えつつ、診療水準の向上と経営改善の両立が重要な課題である。

○簡易水道・下水道事業会計
令和6年度から公営企業会計に移行し、財政状況の把握が可能となった。今後は、財政状況を分析しながら、効率的な事業運営に努められたい。

また、借入金返済の負担割合を示す実質公債費比率(3カ年平均)は、前年度比0.4ポイント増の10.4%となり、基準内の水準ではあるが、上昇傾向にある。

指数・将来負担比率・連結赤字比率等の各指標はいずれも健全な状況を示しているが、人件費等固定的な支出の割合を示す経常収支比率は81.8%となり、経常的経費の負担が増えている。



鹿追高校寄宿舎整備事業

4 億 435 万円

鹿追高校の全国募集に伴う生徒数増加に対応するため、寄宿舎を元町 4 丁目に設置した。移動・転用可能なユニット式木造建築物で、生徒用居室 4 棟 40 室、食堂及び交流棟 1 棟、ハウスマスター棟 1 棟 2 戸を整備し、令和 7 年 4 月から「ペンギンドミトリ」として供用を開始した。



生徒用居室 40 室を備えた鹿追高校寄宿舎「ペンギンドミトリ」

クローズアップ2024 決算・事業

物価高騰対応事業

8049 万円

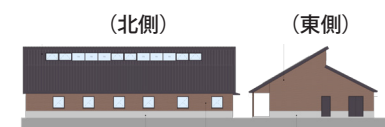
物価高騰による家計負担軽減のため、商品券配布及び給付金事業を実施した。全町民に 5000 円分の商品券を配布したほか、非課税世帯に 10 万円給付等を行った。



物価高騰対応商品券

瓜幕自然体験留学センター新築基本設計委託事業

2728 万円



新築する留学センターの立面イメージ

築 50 年以上が経過し老朽化した瓜幕自然体験留学センターの新築に向け、基本設計を実施した。瓜幕東 2 丁目に平屋建てで整備し、2 人用居室 4 室・自習スペース・多目的ホール・食堂・調理室等を設ける。令和 7 年度は実施設計を行い、完成は令和 8 年度の予定。

消化液散布車両更新

5786 万円

瓜幕バイオガスプラントで使用する消化液散布用スラリータンカー及びけん引用トラクターを更新した。



スラリータンカー

防災行政無線放送施設整備事業

6375 万円

防災行政無線をデジタル方式に更新する。役場に親局を設置するほか、鹿追消防署には遠隔制御装置を、鹿追・瓜幕市街地には屋外スピーカーを整備する。

また、音声放送の受信が難しい世帯等には、希望により個別受信機を貸与する。事業完了は令和 8 年 2 月を予定。



右が旧、左が新しい屋外スピーカー

役場庁舎空調設備改修事業

1 億 8590 万円

近年の自然環境の変化に対応するため、役場庁舎に冷暖房設備を整備した。来庁者及び職員にとって快適な環境を確保するとともに、防災拠点・指定避難所としての機能を強化した。



庁舎内各所に冷暖房設備を設置

数字で見る まちの主な財政指標

貯金と借金

貯金（基金等）は主に町づくり基金、減債基金、環境保全センター基金の減少により、令和 5 年度より 2 億 2134 万円減少しています。

借金（地方債）は主に過疎対策事業、辺地対策事業、緊急防災・減債事業、臨時財政対策債の償還により、令和 5 年度より 4 億 3256 万円減少しています。

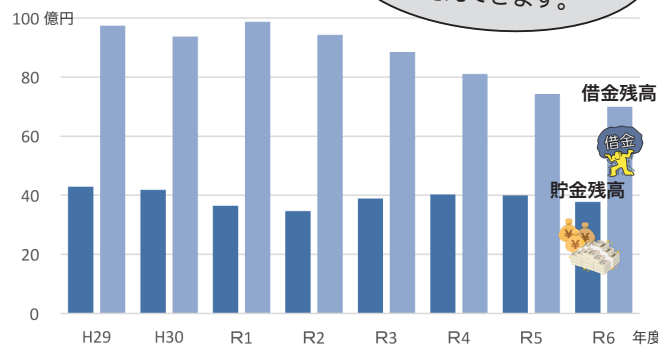
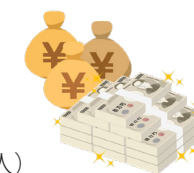
■まちの貯金（基金等）※全会計の額

37 億 7157 万円

（R6.3 末より 2 億 2134 万円減）

町民 1 人当たり

77 万 5565 円（人口 4863 人）



■まちの借金（地方債残高）※全会計の額

69 億 9176 万円

（R6.3 末より 4 億 3256 万円減）

町民 1 人当たり

143 万 7747 円（人口 4863 人）



主要 2 基金（減債・財政調整基金）

減債基金残高

（R6.3 末より 7590 万円減）

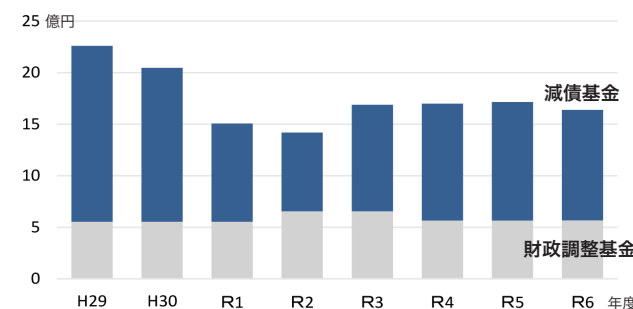
10 億 7230 万円

財政調整基金残高

（R6.3 末より 60 万円増）

5 億 6590 万円

減債基金は、借金返済（公債費）を計画的に行うために積み立てる基金。財政調整基金は、年度間の財政の変動に備えて積み立てる基金。余裕がある年度に積み立て、災害等の理由で不足が生じた年度に活用します。



借金全体（3 カ年平均の実質公債費比率）

10.1%

（前年度比 0.4 ポイント増）

一般会計等の借金返済（公債費）等を、標準的収入で割った比率です。18%以上は借金（起債）をするときに北海道の許可が必要となり、25%以上は一部を除いて借金が不許可となります。

弾力性（経常収支比率）

81.8%

（前年度比 0.2 ポイント増）

人件費や借金返済（公債費）等、固定的に支払う経費（経常的経費）に、町税や普通地方交付税等の収入（経常的収入）がどれだけ使われたのかを示します。

数値が低いほど新たな行政サービス（政策的経費）に投資でき、弾力性があるといえます。



財政力（3 カ年平均の財政力指数）

25.1%

（前年度同率）

財政力を示す指標で、数値が高いほど町税等の自主財源が多いことを示します。

100%との差額は、国からのお金（普通地方交付税）で賄われます。

※金額及び人口は令和 7 年 3 月末現在の値



The 決算 質疑 疑

令和6年度の決算認定を行うため、決算審査特別委員監査委員を除く8人で構成し、委員長に川染洋委員、委員会では54項目の質疑と一つの討論が行われま

員会を設置しました。特別委員会は、議長と議会選出副委員長に山口優子委員を互選して審査を行いました。ここではその一部を要約してお知らせします。



決算委員会の様子は、鹿追町議会ホームページ「議会中継」の「過去の中継」からご覧いただけます。

総括質疑

国民健康保険病院のあり方設置者としての考えは

Q 現在、病院の管理者である院長が不在だが、病院のあり方について設置者である町長の考えは。

A 前院長は8月20日で退職され、現在は副院長が管理者となっている。常勤医師は募集中で、町内に移住された医師に週1回当直をしていただいている。近々院長を決め、安心して受診できる体制づくりに努めたい。



国民健康保険病院のあり方とは

土木費

スクールバス運行ルールの明文化は

Q スクールバス運行ルールは明文化されているか。明文化することで運行基準の設定や使用車両の選択も検討しやすくなるのでは。



スクールバス運行ルールの明文化を

A 管理規則がないため、福祉バス運営管理規則を準用している。関係部署と連携しながら必要な規則等を整備し、運行管理体制の充実について検討したい。

土木費

ストニブレイン通り改良舗装工事継続は



幅員工事により狭くなった道路

Q ストニブレイン通りの改良工事を行ったが安全性に懸念がある。町民からの苦情はないか。継続事業として来年度以降も実施するのか。

A 交通量を鑑み、国の基準で整備したが、農協諸団体ほか多くの方から「道幅が不十分」との意見をいただいた。令和8年度以降の工事は一時休止する。

民生費

戦没者遺族会の課題は

Q 戦没者遺族会の会員が減少し、解散する町もあるが、鹿追町の課題は。

A 遺族会員の高齢化と減少により霊堂の維持管理が困難となるため、今後霊堂を解体する予定である。遺品を遺族へ返戻するが、遺族が見つからない事例もある。会としては、できる限り長く存続させる意向である。



鹿追神社境内にある殉公者霊堂

総務費

鹿追町のホストファミリー確保は

Q ホストファミリーの確保に時間を要しているようだが、ホストファミリーの事例報告会を企画しては。



ストニブレイン町交換留学生等友好訪問団来町（2025.7.17）

A ホストファミリー経験談の共有は、今後受け入れを希望する方の不安解消に有効な手段になると考える。ホストファミリーに対する理解促進に努め、事業の安定的な継続につなげたい。

総務費

解散した町内会への対応策は



町の情報伝達方法は

Q 解散した町内会があるが、町の情報の伝達方法は。また、各種募金にも充てられる町内会費や地域コミュニティに対する考えは。

A 町の情報は、広報誌を公共施設等で配布するほかホームページへの掲載等で提供している。町内会について認識してもらえよう、あり方、活動を周知していきたい。

反 対 討 論

『より丁寧な説明・対応を』 瓜幕自然体験留学センター新築事業

かねこ たかのぶ
金子 孝伸 議員

瓜幕自然体験留学センター新築に係る基本設計業務事案について、基本構想からの変更には一定の理由があったものと考えられるが、変更の理由や必要性について、また基本設計の完成に至る過程において、議会及び地域住民の皆さまに対し、より具体的な説明を行うことで事業への理解が深まったと考える。

留学センターの必要性は十分理解しているが、事業の進め方や町民・議会への説明という観点から、より丁寧な対応が必要であったと考え、基本設計事案を含む決算認定については賛成いたしかねる。

今後においては、町民への説明責任を重視し、透明性のある行政運営を継続していただくことを求め、一般会計決算認定に反対する。



築50年以上経過する瓜幕自然体験留学センター

総括質疑

行財政改革の下で投資と財源確保の両立は



持続可能な行政サービスを

Q 行財政改革の中で投資と財源確保を両立させながら行政サービスを提供しなくてはならない。今後の方針は。

A 過去の事業の償還ピークが令和7年度で約9億6000万円。今後進める事業で令和13年頃再度償還ピークが来る予定である。起債残高は順調に減っているが、投資的経費は増えている。将来的な投資も含め、しっかりと財政運営を行っていきたい。

商工費

ふるさと納税町の財源として確保を

Q ふるさと納税額が前年度より26%減少している。町の大きな財源の一つとして確保するという覚悟を持って取り組んでいただきたい。

A これまでの実施方法を含めて検証し、まずは令和5年度と同程度の1億円まで戻すことを目指して進めたい。



ふるさと納税募集サイト（さとふる）

農林費

瓜幕バイオガスプラント液肥の繰り越し状況は

Q 瓜幕バイオガスプラントの消化液が散布されず繰り越されているのでは。



瓜幕バイオガスプラント液肥散布車

A 受入原料から生産する液肥の全量利用が重要であり、繰り越しが増えると原料の受け入れが困難になる。瓜幕では若干繰り越しがあるため、受益対象地区以外でも要望があれば可能な限り液肥利用を推進していきたい。

衛生費

患者輸送バスの利用者増加要因と今後の方向性は



患者輸送バスの利用者が増加

Q 患者輸送バスの利用者数が増加しているが、要因と今後の方向性・課題は。

A バスの利用者は農家従業員の方の利用増等により増加している。バスの増便や時間変更等の要望はきていないが、今後、高齢者等にとってより利便性の高いサービスを構築できるよう考えたい。



9月定例議会

物価高騰対応

子育て世帯に

商品券を配布

9月定例議会が、9月9日から22日までの14日間の日程で開かれた。

条例改正、補正予算、選挙管理委員会選挙、人事案件、決算認定他、全23件を審議し、全て原案どおり可決した。一般会計予算は、1億4957万円を追加し、総額を83億2054万円とした。

主な補正予算

子育て支援

○物価高騰対応子育て応援商品券給付事業 916万円

物価高騰の影響を受ける子育て世帯の家計負担軽減と、地域消費喚起を図るため、子ども一人につき1万円分の町内限定商品券を配布する。

対象者は、基準日（令和7年9月1日）に住民基本台帳に記載されている0歳から18歳までの子どもの保護者。

申請は不要だが、対象となる子どもが町外にいる場合は申請が必要。申請期間は令和7年10月1日から令和7年11月28日まで。また、令和8年3月31日までに生まれ、住民基本台帳に記載された子どもの保護者も対象となる。

認知症対策

○認知症施策推進計画に係る策定準備支援事業 186万円

「新しい認知症観」に基づく施策推進のため、推進計画策定の準備を委託する。

「新しい認知症観」とは、「認知症になっても地域とつながりながら、希望をもって自分らしく暮らし続けることができる」という考えである。

この考えに基づき、講座の開催、「認知症セルフチェッカー」による測定体験等、各種事業を実施する。

国の補助金を活用する。

主な条例改正

人事案件

○職員の勤務時間、休暇等に関する条例

妊娠・出産・育児期の職員が働き方を柔軟に選択できるよう、意向聴取及び意向への配慮が義務付けられた。

○職員の育児休業等に関する条例

職員の育児時間の部分休業取得について、従来は1日2時間の範囲内とされていたが、1年に10日相当の時間数の範囲内であれば、1日当たりの上限を設けずに取得可能となった。

○公平委員会委員の選任

福井博幸さんの再任に同意した。

任期は令和7年10月1日から令和11年9月30日まで。

※地方公務員の勤務条件に関する措置要求や職員に対する不利益処分を審査し、必要な措置を講ずることを職務とする。

○教育委員会委員の任命

関道俊さんの再任に同意した。

任期は令和7年10月2日から令和11年10月1日まで。

選挙管理委員会
委員決まる

鹿追町選挙管理委員会委員の任期が令和7年9月28日で満了となるため、新たに4人の委員と4人の補充員を議長の指名推薦により決定した。

任期は令和7年9月29日から令和11年9月28日まで。

○選挙管理委員

・横幕 章 さん
・井出 健一 さん
・津田 潔 さん
・熊谷 浩司 さん

○補充員

・馬場 厚子 さん
・お下 洋美 さん
・勇 慎一 さん
・齊藤 祐基 さん

まちなか会議 議員とカフェでひとこと 開催します

令和7年11月25日（火）11:00 平成館 でお待ちしています！

予約は不要です。
お気軽にお越しください。

町政を問う。

9月16日、5人の議員が一般質問を行なった。



議員 正雄 町野

アライグマ対策

新たな貸し出し用捕獲器（箱わな）導入を検討

を荒らす等の被害が確認されている。

（質問）特定外来生物のアライグマが管内で急増しており、農業被害や牛舎・物置への侵入が相次いでいる。捕獲器を設置して駆除を行っているが、捕獲数と農業・生活環境への被害状況は。

（答弁）喜井町長

近年のアライグマの捕獲数は、年間320頭前後で推移しているが、今年8月までに273頭が捕獲されており、10年前の年間3頭と比較すると大幅に増加している。被害状況については、農業関係では畑作物や飼料の食害、生活環境では家庭菜園の作物や生ごみ

（答弁）喜井町長

町では捕獲器を10台保有している。捕獲にあたる担当者は農業振興課の3人である。捕獲には原則狩猟免許が必要であるが、アライグマは特定外来生物に指定されているため、捕獲及び安全に関する知識



町が保有している捕獲器

その他の補正予算

- 住まいのゼロカーボン化推進事業補助金 500万円
- 環境保全型農業直接支援対策事業補助金 211万円
- 鹿追4号線外舗装修繕 570万円

- 瓜幕東伸通り外改良舗装工事調査設計委託業務 305万円
- 西瓜幕橋りょう補修設計委託業務 568万円
- 緑町2丁目本通り歩道整備工事調査設計委託業務 312万円
- 鹿追北3線交通安全標識設置工事 97万円
- スポーツトラクタ芝刈機（付帯装置含む） 852万円



スポーツトラクタ芝刈機

しかおいの魅力を発信

○しかおい応援大使活動支援事業 60万円

しかおい応援大使の賀来千香子氏と木村善幸氏の第3回鹿追芸術祭出演に伴い、同行する関係者を含む旅費を鹿追町観光協会に補助する。

鹿追芸術祭は令和7年11月9日開催予定。



2024年のエコラリーの様子

- 鹿追消防団第一分団小型動力ポンプ積載車購入 1099万円
- 高校寄宿舎（ペンギンハウス）居住棟用備品購入 644万円
- 総合スポーツセンター用ランニングマシン購入 180万円



脱炭素先行地域に選定されたが 町長としての期待は 地域課題解決の糸口として 絶好の機会

脱炭素



黒井 敦志 議員

題であるが、対応策についての考えは。また、長期間公共施設が利用できないが、対策は。

（答弁）喜井町長

「脱炭素先行地域」に選定されたことは、公共施設の機能更新とあわせて町民の暮らしの質を高める絶好の機会と捉えている。公共施設の長寿命化と環境負荷の低減及び快適性の向上を両立させる施設整備を進めたい。地方債の償還は、令和7年度に約9億6千万円がピークとなる。行政改革や遊休資産の資金化等により経費圧縮に努め、安定的な財政運営を進める。

力が得られる。長期間利用できなくなることへの不安を持っている団体・個人も多い。施設で働く関係者にも十分な説明を行うことが必要では。

（答弁）喜井町長

大規模改修を行う施設は30年以上が経過しており、早期の長寿命化が必要であると考えていた。本町が推進する脱炭素事業を活用した改修により、町民の利便性向上を図ることも目的の一つである。契約等の課題により説明が遅れているが、事業内容確定後、速やかに説明を行いたい。



改修のため一時休館する健康温水プールしかおい

施設を利用できない期間を広報誌やホームページで分かりやすく説明し、代替施設の情報も提供していく。

（質問）

事業のメリットを説明することにより町民の協

遊休公共施設の活用策は

新しい役目を担うよう
取り組む



佐々木 康人 議員

施設利活用

も含め、公有財産利活用検討委員会を中心に、上幌内小学校利活用協議会や地域住民と情報共有しながら、地域に新たな価値を生み出す利活用を検討したい。

（質問）上幌内小学校の活用については、開拓の歴史、農業・酪農の食文化等ジオパークの要素を含め複合的な施設として利用できないか。

（答弁）喜井町長

開拓の歴史、いわゆるジオストーリーも大切である。これらを考え合わせながら、地域、ジオパーク推進協議会等と相談しながら検討する。



2025年3月末で閉校した上幌内小学校

（答弁）喜井町長 上幌内小学校閉校後の維持管理や利活用については、地域からの要望を受け、ミニバレーや和太鼓の練習等、地域活動の場として活用している。今後、隣接する旧保育所や教職員住宅、公営住宅

を一体的に捉えた検討が必要と考える。旧上幌内保育所は、地域の物品保管場所として使用している。旧笹川保育所は売却方法を検討している。旧通明保育所は、小学校統廃合後の利活用と一体的に検討する。

熊出没時の安全確保対策は

草刈りや緊急時の訓練等を
検討したい



山口 優子 議員

ヒグマ対策

町有林は伐採・下草刈りを進めたい。緊急銃猟制度は訓練等の対応策を検討中である。

（質問）

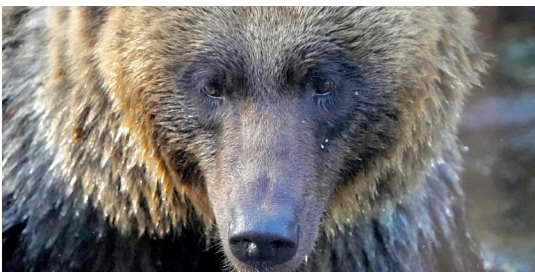
目撃者が必ず通報するよう周知徹底をしてほしい。町民からの情報提供に町LINEの活用も必要である。

ヒグマ個体数の推定や駆除計画も必要では。

（質問）発砲許可は担当職員が出すのか。ハンターの有資格者の専門職員も必要では。

（答弁）喜井町長

発砲許可は町長が出す。専門職員の配置は、将来的に必要なと考え



鹿追町内でも熊の出没が増加

わが町の価値として 最優先すべき政策は 持続可能な 循環型まちづくりを推進



かわい ひろし 議員

町の価値

（質問）人が住む場所を選ぶのは、そこに暮らす理由があるからである。鹿追町では、その理由となる「価値」を何に定めるかが重要である。住民がその価値をしっ

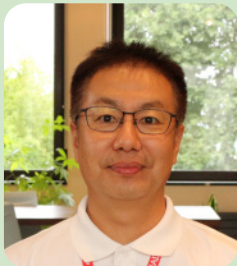
かりと認識できるよう、他町村との「差異」や「意味」を政策上明確にして発信する必要がある。わが町の価値として、最優先すべき政策を検討する考えはあるか。

（答弁）喜井町長

住んで良かったと思える持続可能なまちづくりを進めてきた。まちづくりにには全ての政策が重要なため、全般にわたりバランスとメリハリを意識し町政を運営している。基幹産業が経済を支え、子育て支援や教育等への投資が次世代の人材を育み、町に活気をもたらす。この持続可能な循環を目指し、政策の連続性を重視している。



鹿追町ならではの価値ある教育を



鹿追町教育委員会
学校教育指導室長
たかしま こうた
高嶋 幸太 さん



国際バカロレアの教育に取り組む町内の中学校



国際バカロレア 認定校を目指して

国際バカロレアは、国際的な教育プログラムで、グローバルな視点の育成や探究心を育む教育を目的に、国際的な視野を育むシステムです。

鹿追町では鹿追中学校と瓜幕中学校が今年度の認定を目指し、さまざまな教育プログラムを実践し成果を上げてきています。

鹿追町では鹿追中の教頭時代を含め10年間の教員生活を送り、今年4月から教育委員会指導室長に着任しました。

町のバカロレアの取り組みの中で、教員の意識と子どもたちの学びの姿勢が変化していることを実感しています。子どもが自ら課題を追求する姿勢が見られるようになりました。バカロレアに関わってきた教員が町外に出ることで、十勝管内にこの取り組みが広がっていくと良いですね。

（取材・インタビュー）佐々木康人



農作物の生育状況を確認 合同作況調査

9月8日、関係者による合同作況調査が実施されました。

この調査は、農業振興対策委員会と農業委員会が主催するもので、町・議会・町内農業関係者も参加して鹿追町内の農作物の生育状況を確認し、情報を共有するものです。

今年は異常な高温が続き、記録的に早い小麦の収穫や、高温による作物被害、大幅



デントコーン被害の説明を受けた



高温等により生育が進むも問題も浮き彫りに

に早い収穫時期を迎える作物が報告されました。

酪農関係では、高温による生乳生産への影響、ガガイモの発生によるデントコーンの被害等の問題を関係者で確認しました。

視察後には会議室で意見交換が行われ、「異常高温によるキャベツの廃棄が生じているが、廃棄しない方法はないか」との声が上がる等、異常高温による深刻な問題が提起されました。

（取材）黒井敦志

編集後記

今年は「記録的な暑さ」から「危険な暑さ」へと変わった。線状降水帯が十勝管内にも発生する等、異常気象による農業被害や人的被害が深刻化した。

鹿追町の災害といえば、昭和56年8月の通称「56災害」である。「60年に一度の未曾有（みぞう）の豪雨」と言われ、町は一時的に陸の孤島となった。

その後、平成23年にも記録的豪雨となったが、「56災害」を受けて北海道が然別川に200億円以上かけた改修が効果を発揮し、大事に至らなかった。

平成28年の豪雨では近隣町の被害が甚大だったが、この年も河川改修が鹿追町を救った。先人の大きな決断を思い出した夏だった。

議会広報部会 部会員 黒井 敦志

議会広報広聴常任委員会 広報部会

部会長 佐々木康人
副部会長 山口 優子
部会員 青砥 敏一
金子 孝伸
黒井 敦志